

きれめのない医療とケア提供を目的として



聖マリアンナ医科大学病院  
メディカルサポートセンター看護相談



平成20年10月9日 地域医療との勉強会開催

# 「腹膜透析学習会」

昨今、透析患者の高齢化や在宅療養推進の社会情勢を受け、在宅管理の腹膜透析患者が増加することが想定されております。介護者の高齢かもあり、訪問看護師の介入が必須となることを見越し、今回訪問看護師の方々と腹膜透析について最新情報を共有することを目的として学習会を開催いたしました。

◆ 参加施設 13施設 ◆参加者数 47名

◆ 内容

「腹膜透析療法について」

聖マリアンナ医科大学病院腎臓高血圧内科医師

櫻田 勉

「腹膜透析患者の看護・指導の実際」

聖マリアンナ医科大学病院血液浄化ユニット看護師

神山 明子

櫻田医師からは、腹膜透析が必要とされている現状・最新情報を交えメリット・デメリットについて具体的な例をあわせて説明がされていました。

神山看護師からは、腹膜透析患者の看護の実際・退院後患者のフォロー体制・特に在宅での観察やケアについて写真・絵を用いて説明がされ、異常発見時の対応について述べられていました。



アンケートでは、「具体的な説明がわかりやすかった。」  
「知識の再確認ができた」という意見があり、腹膜透析患者の看護経験有無に関わらず、それぞれが腹膜透析について考える機会になったと思われます。

